

Lintel Industrial Park

日鉄住金物産株式会社
インフラ事業推進部



1

なぜ今メキシコなのか？

- 1 - 1 メキシコで今何が起きているのか？
- 1 - 2 今後のメキシコで何が起こるのか？
- 1 - 3 なぜメキシコなのか？
 - (1) 投資環境の魅力
 - (2) ビジネス環境の魅力
 - (3) 消費国としての魅力
 - (4) 製造拠点としての魅力

2

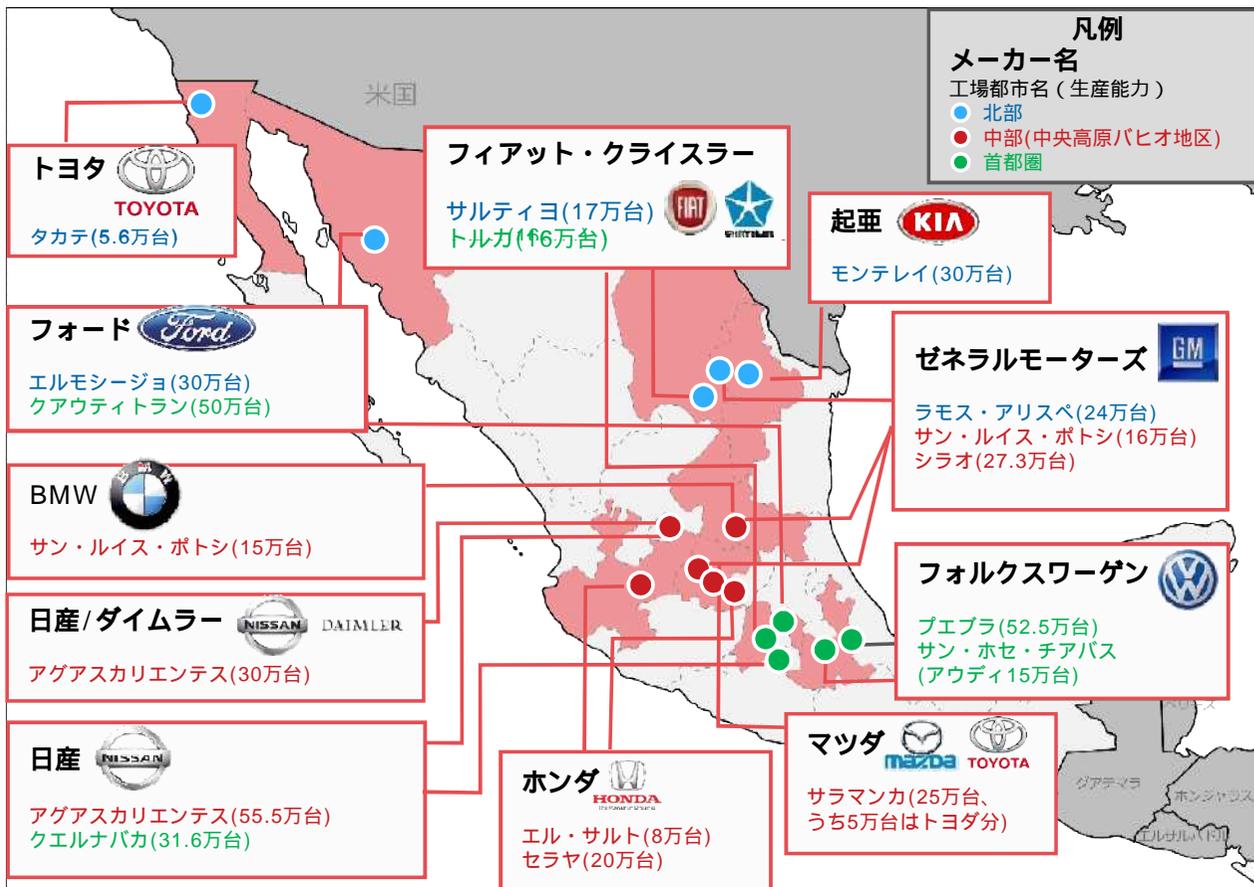
Lintelとは？

- Lintel社概要
- 工業団地概要

1-1 メキシコで今何が起きているのか？

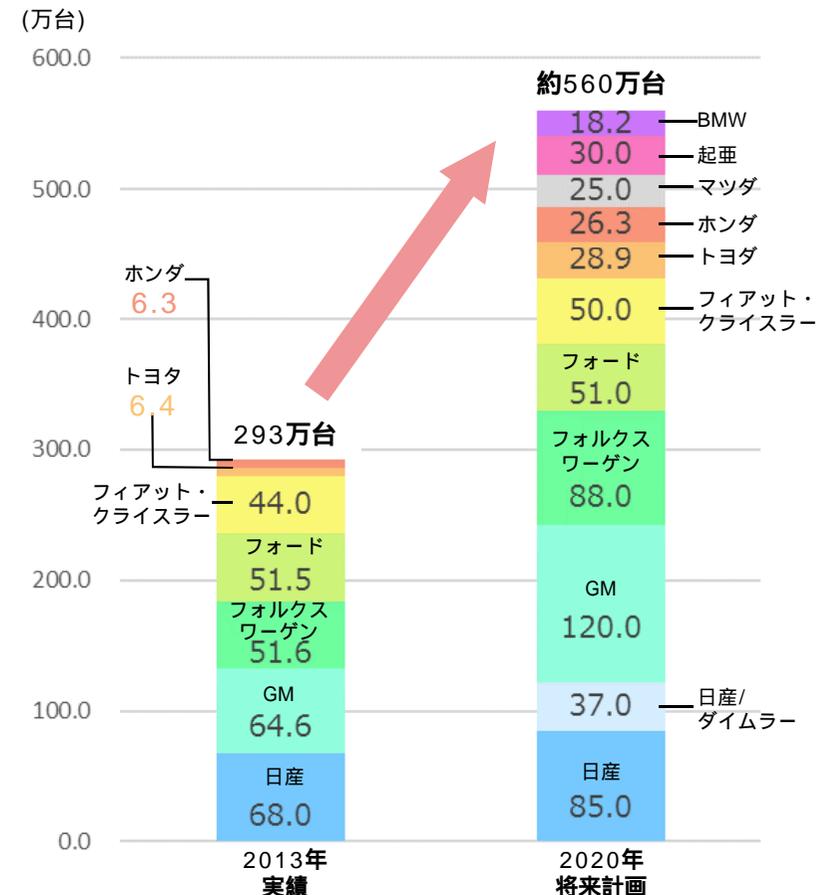
メキシコの自動車生産台数（2015年）は約340万台でタイ（約200万台）の1.5倍。
2020年には500万台に到達する勢いでセットメーカーが集中投資

日系はメキシコの「へそ」に集中



出典：週間ダイヤモンド

近く500万台を突破！

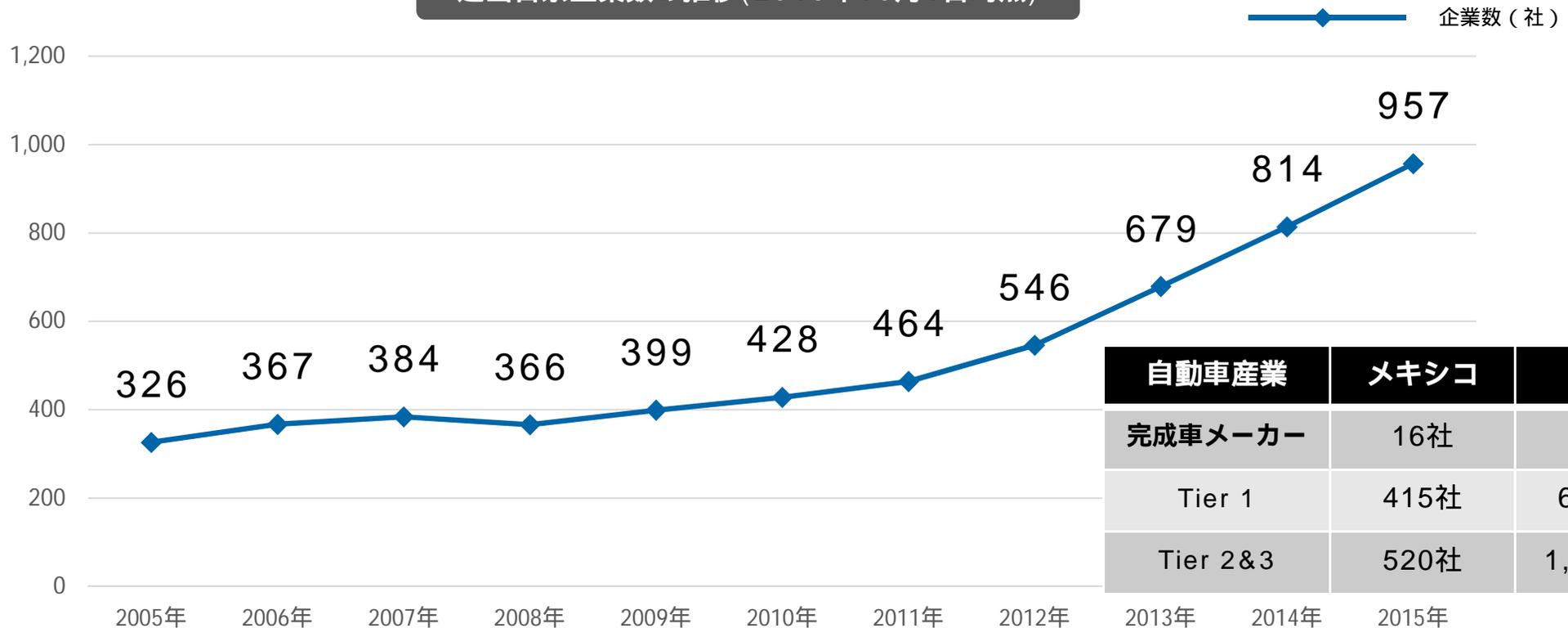


*各社の生産計画を基に本誌編集部作成

1-2 今後のメキシコで何が起こるのか？

メキシコは既に完成車メーカーの数ではタイを抜いている。
しかし、そのサプライヤーであるTier2&3が圧倒的に不足しており、
今後、日系のみならず大手完成車メーカーのメキシコ新工場稼働を見据え、
Tier2&3のメキシコ投資の判断の時期が迫ってきている！！

進出日系企業数の推移(2015年10月1日時点)



外務省「海外在留邦人数調査統計」参照

メキシコ投資の四大メリット



(1) 投資環境の魅力



(2) ビジネス環境の魅力



(3) 消費国としての魅力



(4) 製造拠点としての魅力

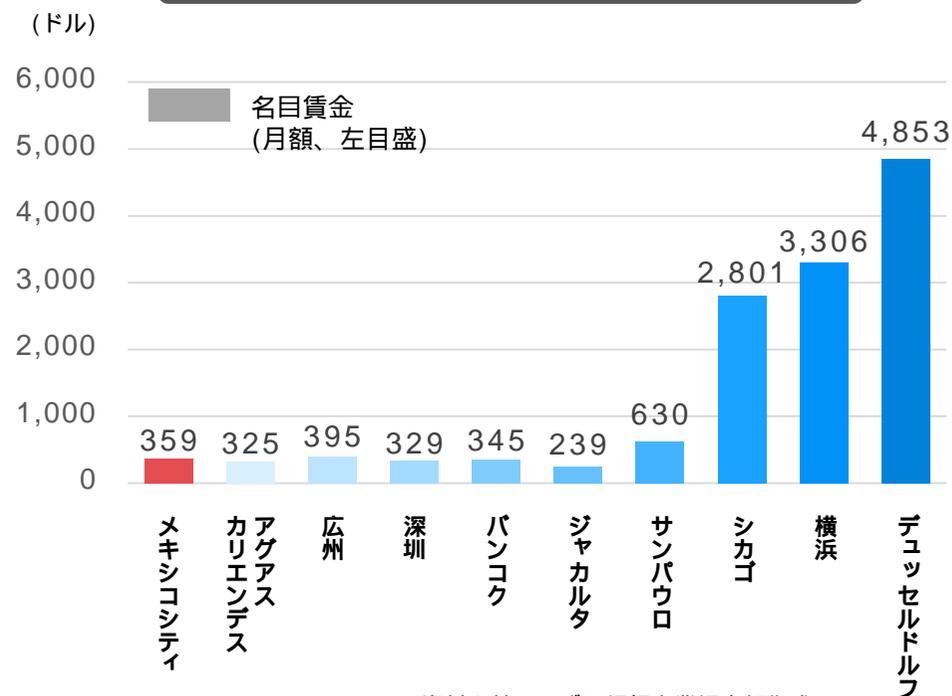
(1) 投資環境の魅力

- 北米自由貿易協定(NAFTA)に加盟しており世界最大の消費国である隣国アメリカへの輸出において、最大のメリットを生かせる国
- NAFTAのみならず40ヶ国以上とFTA,ETAを締結しており魅力的な輸出入拠点
- 世界一労働時間が長いといわれるメキシコ。勤勉且つリーズナブルな製造コストが計算できる国

各都市でのワーカー平均賃金及び賃金上昇率

都市名	月間賃金(US\$)	賃金上昇率(%)
メキシコシティ	386	4
アグアスカリエンテス	339	2
バンコク	366	12
広州	437	11
サンパウロ	987	9

人件費の上昇率も安定



*JETRO資料を基にみずほ銀行産業調査部作成

Mizuho Industry Focus(2015年3月25日発行) 参照

出典：週間ダイヤモンド

(2) ビジネス環境の魅力

- 189カ国を調査対象としたビジネス環境は世界で第38位。
中南米では第1位とビジネス環境は世界の中でも上位に位置。

ビジネス環境

単位：順位

国名	総合	起業	建設許可	電力事情	資産登記	信用取得	投資家保護	税務	契約遵守	通関	会社清算
メキシコ	38	65	67	72	106	5	57	92	41	59	28
タイ	49	96	39	11	57	97	36	70	57	56	49
中国	84	136	176	92	43	79	134	132	7	96	55
インドネシア	109	173	107	46	131	70	88	148	170	105	77
ブラジル	116	174	169	22	130	97	29	178	45	145	62
インド	130	155	183	70	138	43	8	157	178	133	136

The World Bank, Doing Business 2016参照

(3) 消費国としての魅力

国内市場

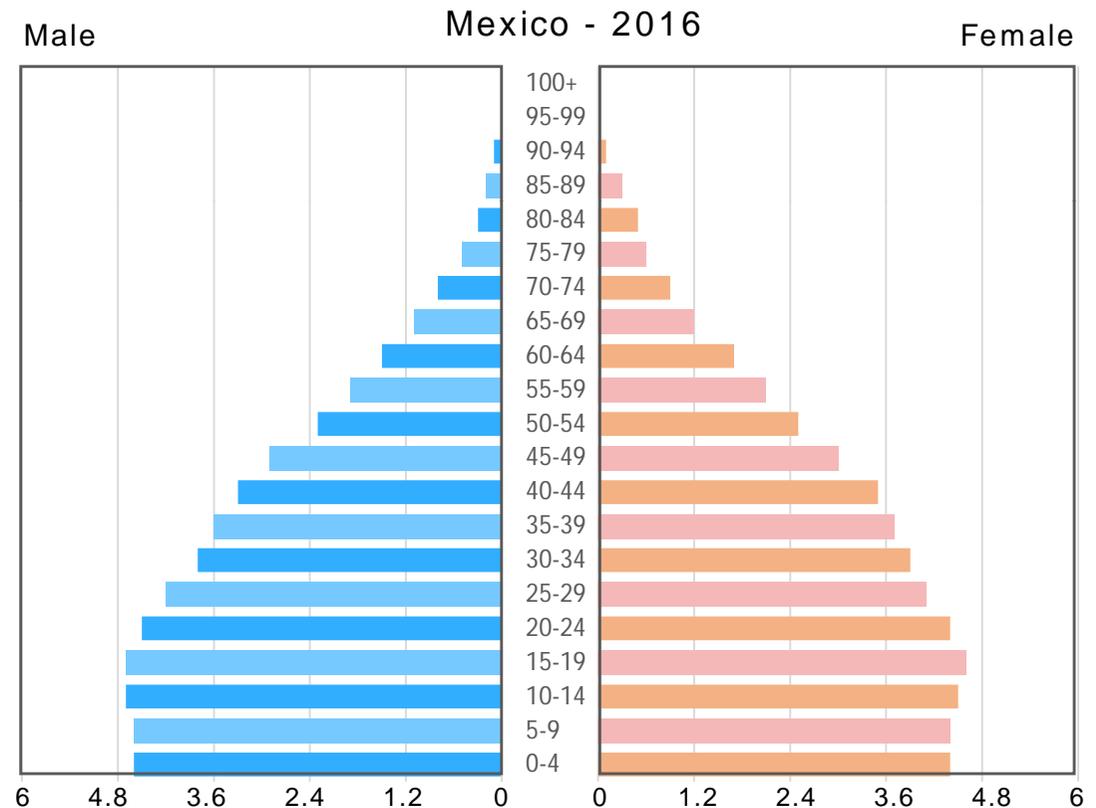
- 若い労働人口が豊富で、将来性のある市場。現時点では、貧富の差が大きいですが、今後の継続的な成長に伴い中間所得層が形成される可能性は十分見込まれる。

GDP	
一人当たりGDP	: 1.14兆ドル
(タイ5,700ドルでタイより上位で、マレーシア、ロシアと同等レベル)	: 9,400ドル

人口 : 122百万人

平均年齢 : 28歳

経済成長率 : 2.5%



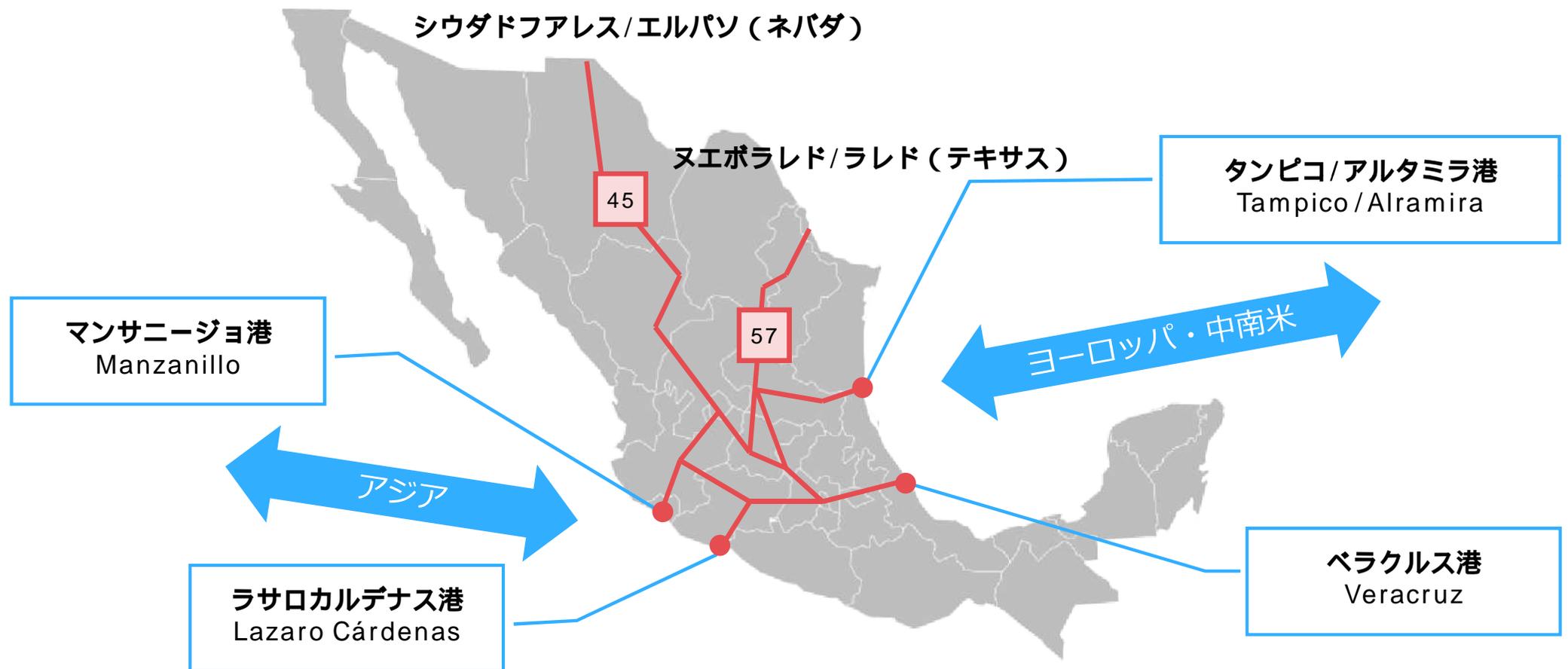
CIA World Factbook参照

出典 : CENSUS

(4) 製造拠点としての魅力

立地

- 経済力NO.1であるアメリカと接しており、利便性の高い陸路輸送及び海上輸送が可能。大都市と比較して労働力も集めやすい傾向。



(4) 製造拠点としての魅力

自動車関連メーカーの集積が加速

- 日系自動車メーカーの進出はバヒオ高原に集中。
- 日産のアグアスカリエンテスでの第2工場、2019年のケレタロ州至近のトヨタ新工場が注目されている。



2 Lintelとは？

Lintel社(Lintel Corporation)概要

設立	1983年（30年以上の歴史）100%メキシコ資本
本社	In Juarez, Chihuahua, Mexico
主業務	1．ゼネコン業務
	2．工業団地ディベロッパー
	3．プレハブ建築・販売



2 Lintelとは？

Lintelの開発する中央高原での工業団地



既存の工業団地

総開発面積 (ha)

1	Colinas De San Luis Ind. Park	300 Ha
2	Colinas De Lagos Ind. Park	280 Ha
3	Colinas De León Ind. Park	250 Ha
4	Colinas Del Rincon Ind. Park	100 Ha
5	Santa Fe Ind. Park (I-IV)	600 Ha
6	Colinas De Silao Ind. Park	120 Ha

開発中の工業団地 (用地取得済)

総開発面積 (ha)

7	Colinas De Apaseo Ind. Park	300 Ha
8	Colinas De Leon II Ind. Park	150 Ha
9	Colinas De San Pedro Ind. Park	200 Ha

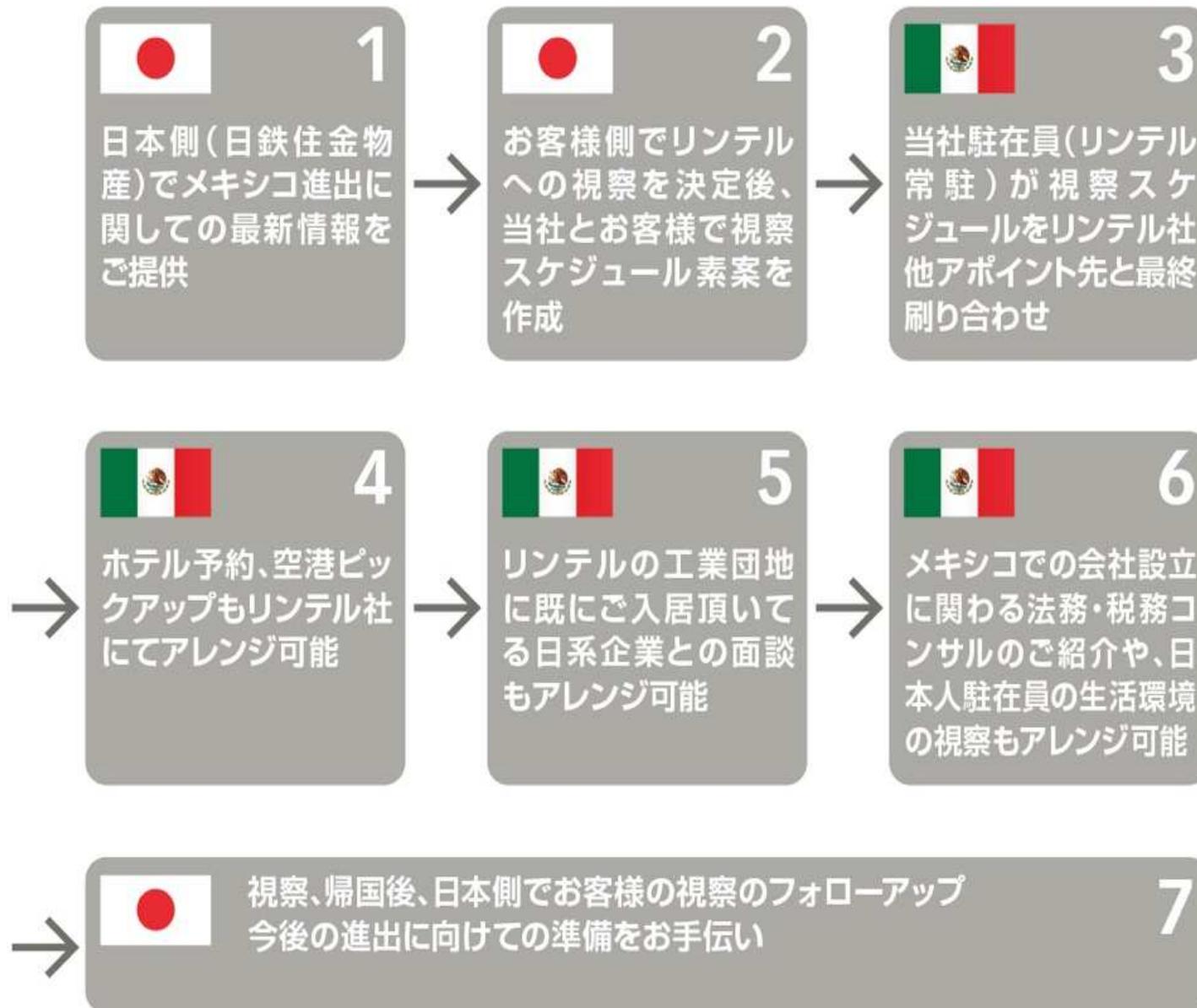
2 Lintelとは？

Lintel所有メキシコ中央高原最大の工業団地



50%が
日系企業の入居

日鉄住金物産の役割とLintelとの連携



日鉄住金物産(株)
インフラ事業推進部

〒107-8527

東京都港区赤坂八丁目5番27号

TEL:03-5412-5188